

株式会社 肥後元気村

平成24年度 営業報告

損益計算書

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

単位：千円

科 目	金 額
交流センター売上	44,175
レストラン売上	25,178
あばかん家売上	22,032
緑 彩 館 売 上	75,302
惣菜・加工売上	34,954
緑彩館サンコー売上	57
【売上高合計】	201,698
【売上原価】	0
【売上総利益】	201,698
役 員 報 酬	2,000
給 与 人 件 費	66,363
法 定 福 利 費	6,370
福 利 厚 生 費	472
【固定費計】	75,205
外 注 費	3,135
旅 費 通 信 費	14
通 信 費	940
交 際 費	194
減 価 償 却 費	1,029
リ ー ス 料	3,727
保 険 料	1,007
修 繕 費	4,247
水道光熱費	24,393
車 輛 費	2,132
消 耗 品 費	4,191
租 税 公 課	182
運 賃	30
事務用品費	12
広 告 宣 伝 費	264
支 払 手 数 料	3,755
諸 会 費	71
新 聞 図 書 費	69
研 修 費	257
雑 費	2,044
【変動費計】	51,693
【経費計】	126,898
【営業損益】	▲ 16,971
【営業外収益】	6,125
【営業外費用】	14
【経常損益】	▲ 10,860

売上高を伸ばすために企業スタイル変更を実施いたしました。当社におけるこれまでの取締役会の位置付けを替え、各取締役を担当部門を持たせ、管理指導していく仕組みにいたしました。また、営業数字等の責任が不明確な営業部門を廃止し、各部門に編入すると同時に各部門の損益状況を正確に把握し不採算部門の内容改善に取り組みました。

組織が硬直化し、1年間に2度の人事異動を行い社内風通しを良くするように努めました。22年度から23年度にかけて行われた人員削減により、企業体力が大きく低下し、売り上げの大幅な下落を招きました。それを改善すべく人材の雇用も進めました。

売り上げは約3%の増加しかできませんでした。1年かけて企業スタイルを変更し、ようやく戦える組織図となりました。今後いかに人

材教育していくかがポイントとなっています。

24年度の営業収入は全事業全事業合計201,698千円、前年差8,992千円の減少(43%減)でした。既存事業での昨年対比は5,955千円の増加30%増となりました。各部門の営業収入及び前年差は以下のとおりです。交流センター44,175千円前年差13,7千円減、あばかん家22,032千円前年差4,57千円減少、緑彩館75,302千円前年差1,144千円増加、レストラン25,178千円前年差1,626千円増加、加工惣菜34,954千円前年差3,779千円増加との結果となりました。しかし総体的な損益は昨年度に引き続き11,063千円の赤字となりました。直しマイナス部門の改善をしていかなければならないと考えています。

貸借対照表

平成25年3月31日現在

単位：千円

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	24,972	【流動負債】	13,683
現金および預金	19,224	買 掛 金	4,959
売 掛 金	973	未 払 金	4,852
商 品	2,836	未 払 法 人 税 等	203
貯 蔵 品	1,348	未 払 消 費 税 等	1,780
立 替 金	199	預 り 金	245
未 収 入 金	392	生 産 者 預 り 金	1,644
【固定資産】	3,554		
(有形固定資産)	3,306		
建 物	450	負 債 の 部 合 計	13,683
建物付属設備	1,441	純資産の部	
構 築 物	262	科 目	金 額
機 械 ・ 装 置	22	資 本 金	67,000
車両運搬具	59	【利益剰余金】	▲ 52,157
工具器具備品	1,072	利 益 準 備 金	1,500
(無形固定資産)	247	積 立 金	1,000
ソフトウェア	121	【繰越利益剰余金】	▲ 54,657
電 話 加 入 権	126	【その他利益剰余金】	▲ 54,657
		【株 主 資 本】	14,843
		純資産の部合計	14,843
資産の部合計	28,526	負債・純資産の合計	28,526

株式会社 菊水ロマン館

平成24年度 営業報告

損益計算書

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

単位：千円

科 目	金 額
物 産 売 上 高	162,435
実 演 売 上 高	23,564
温 泉 売 上 高	14,148
カヌーその他売上	6,874
売 上 計	207,021
売 上 原 価	131,076
売上総利益	75,945
役 員 報 酬	2,675
給 与 手 当	31,414
雑 給	1,762
賞 与	1,965
法 定 福 利 費	3,712
厚 生 福 利 費	356
固 定 費 計	41,884
交 通 費	28
通 信 費	418
交 際 費	262
原価償却費	4,283
賃 借 料	360
保 険 料	779
修 繕 費	642
水道光熱費	18,798
燃 料 費	447
消 耗 品 費	4,966
維持管理費	2,600
繰延資産償却費	252
雑費その他	4,946
変 動 費 計	38,781
経 費 計	80,665
営 業 利 益	▲ 4,720
営業外収入	5,121
営業外費用	9
経 常 利 益	392
税引前純利益	392
法人・住民・事業税	342
当期純利益	50

平成24年度の営業収入は、全事業で207,021千円、収入構成は、物産78.5%(162,435千円)、温泉6.8%(14,148千円)、実演11.4%(23,564千円)、カヌーその他3.3%(6,874千円)となりました。

平成24年度における業界景況の現状は、長引くヨーロッパ経済危機による円高相場の影響及び中国のジャパンバッシング、そして進まない震災復興が重なり、不況感がますます深化した厳しい年でありました。

施策としては、物産実演部門の悲願でありました店舗の拡張、豆腐の農協新規販売店による拡張等の販売強化や、不採算部門のタピオカドリンクの廃止と物産部門の主たる施策である、外販に係る不採算販売拠点の再整理を行い、光熱費削減を強化する等利益追求重点の施策を行いました。

総売上の傾向につきましては、目

立った天候異常や台風などもなかったなかで、同業他社との競合激化もありますが、深刻化する不況感による来店客の減少と消費単価の下落には、営業努力もなすべがなく、年度末には前年比92.8%、▲16,136千円の大幅な減収になりました。

万コスト面におきましては、役員報酬、賞与及び諸手当の削減等を図り、併せて増加が危惧された光熱費を極力抑制し、関連する諸経費の削減や施設維持管理費、修繕費等の自助努力による抑制を行なった結果、▲15,055千円の総コスト削減を行いました。

菊水ロマン館では、このような経営状況に対応すべく、更なる外販の強化や日常営業活動の強化と経費の見直しを行いました結果、年度末におきまして、経常損益で392千円の利益を辛うじて確保いたしました。

貸借対照表

平成25年3月31日現在

単位：千円

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	49,437	【流動負債】	19,034
現 金	2,714	買 掛 金	1,055
預 金	41,593	未 払 金	14,597
売 掛 金	771	未 払 法 人 税 等	101
商 品	583	預 り 金	632
貯 蔵 品	1,536	未 払 消 費 税	1,036
仮 払 金	347	商 品 券	29
未 収 入 金	1,893	1年返済リース債務	1,584
【固定資産】	14,183	【固定負債】	6,078
建 物	8,056	長期預り保証金	3,854
建物付属設備	549	リ ー ス 債 務	2,224
車両運搬具	115	負 債 合 計	25,112
工具器具備品	127	純資産の部	
リース資産	4,992	資 本 金	65,000
差入保証金	300		
リサイクル預託金	44		
		利 益 剰 余 金	▲ 26,422
【繰延資産】	70		
フランチャイズ加入金	12		
下水道負担金	58	純 資 産 合 計	38,578
資 産 合 計	63,690	負債・純資産合計	63,690